



立木 第4回
(資格付一般競争入札)

入札の御案内

令和3年9月29日(水)施行
入札後即時開札：午前10時

〒960-8055 福島市野田町七丁目10番4号

福島森林管理署

電話番号 024-535-0121
IP電話番号 050-3160-5955
FAX番号 024-535-6514

公 売 公 告

令和3年8月24日

分任契約担当官

福島森林管理署長 田坂 仁志

下記のとおり立木の一般競争入札を実施します。販売物件明細書及び国有林野事業林産物売買契約約款を参照し現物熟覧のうえ、国有林野の産物売払規程（昭和25年5月17日農林省告示第132号）及び関東森林管理局署等競争契約入札心得を厳守し入札して下さい。

記

- 1 入札及び開札の日時
令和3年9月29日（水）
午前 10時00分 入札後即時開札
- 2 入札及び開札の場所
福島森林管理署 1F 入札室
- 3 郵便入札
認めます。
 - (1) 送付場所 〒960-8055
福島県福島市野田町七丁目10番4号 福島森林管理署
 - (2) 到着期限 令和3年9月28日（火） 午後5時00分必着
※郵便入札の到着期限を入札前日の営業日としているのでご注意ください。
*上記の期限以後、到着したものは、無効とします。
 - (3) その他留意事項
封筒を二重にして内封筒に入札書を入れ、外封筒には「立木公売入札書在中」と朱書し、書留または配達証明でお送り下さい。
なお、入札書の日付は令和3年9月29日付けとして下さい。
- 4 入札物件
 - (1) 次の事項については、別添「販売物件明細書」のとおりです。
 - ア 売払番号
 - イ 物件所在地
 - ウ 伐採種（主伐）
 - エ 国有林・分収造林・分収育林・官行造林の区分
 - オ 搬出期間
 - カ 樹種・数量・収穫面積
 - (2) 物件毎の（特約事項・入札条件等）については、別添「搬出の留意事項」「お願い」等を参照して下さい。
- 5 入札参加者の資格
令和2年度から令和6年度の林産物の売払いに係る資格確認の交付を受けている者に限ります。
但し、次の事項に該当する者は参加することが出来ません。

- (1) 予算決算及び会計令第70条に該当する者。
- (2) 予算決算及び会計令第71条に該当する者。
- (3) 関東森林管理局長から一般競争参加資格を停止されている者。

6 入札保証金

免除します。

但し、落札者が契約を結ばないときは、入札金額の100分の5に相当する違約金を徴収します。なおこの場合、競争参加資格の取り消し、又は付与しないことがあります。

7 契約保証金

免除します。

8 入札金額及び消費税

(1) 入札金額は消費税抜きの金額を記入して下さい。誤って消費税を加算した金額を記入した場合でも入札は有効とし、入札後には誤りの訂正及び取消は認めないので注意願います。

(2) 入札書に記載された金額に消費税相当額10%を加算した金額(円未満の端数切捨て)をもって落札金額及び契約金額とします。

なお、契約締結以後、当該契約において特に契約書等で金額が明示されているものを除き、当該契約に係る違約金、延滞金、率で表わされるものについては、全て消費税額が加算された総契約額が対象となります。

9 入札における留意事項

(1) 代理人の入札への参加

ア 委任状の提出

競争参加有資格者本人が入札当日出席せず代理人が入札に参加する場合は、「委任状」(別紙1-1)の提出が必要となり、委任状の提出のない者は入札に参加することはできません。

なお、年間を通じて代理人に委任する場合は、当該年度を有効とする「委任状」(別紙1-2)を提出すれば、入札の都度委任状を提出する必要はありません。

イ 入札書

「入札書」(別紙2)のとおり、入札者の住所、商号又は名称、代表者氏名を記入するとともに代理人氏名の記入が必要となります。

(2) 無効の入札

次の各号の一に該当する入札は無効とします。

ア 競争に参加する資格を有しない者のした入札

イ 委任状を持参しない代理人のした入札

ウ 所定の入札保証金の納付又は入札保証金に代わる担保の提供をしない者のした入札

エ 記名を欠く入札

オ 金額を訂正した入札

カ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札

キ 明らかに連合によると認められる入札

ク 同一事項の入札について同一人が2通以上なした入札又は入札者若しくはその代理人が他の入札者の代理をした入札

ケ 入札時刻に遅れてした入札

コ 暴力団排除に関する誓約事項(別紙3)について、虚偽又はこれに反する行為が認められた入札

サ その他入札に関する条件に違反した入札

(3) 落札者の決定

ア 開札は、指定した場所及び日時に、入札者の面前で行い、予定価格以上で最高の価格を持って入札した者を落札者とします。ただし、落札となるべき同価格の入札をした者が2名以上のときは、直ちに「くじ」で落札者を決定します。

イ 落札宣言後は、錯誤等を理由に入札無効の申し出があっても、受理しません。また、どのような事由があっても落札を無効にすることはできません。

1 0 契約の成立及び締結期限

(1) 契約の締結は、契約書の作成を必要とし、双方記名押印した時に成立とします。

(2) 契約の締結期限は令和3年10月5日(火)までとします。

1 1 代金の納付期限

代金の納付期限は、契約締結日から起算して20日以内とします。

1 2 代金の延納

(1) 1件の売払契約代金が150万円以上の物件において、国の所有に属する物品の売払代金の納付に関する法律(昭和24年法律第176号)の定めるところにより認めます。(年利0.64%)

延納利息代金の計算方法は以下のとおりです。

延納利息代金 = (契約代金 × 延納期間 × 延納利率) ÷ 365日

ただし、分収林契約者の持分に係る代金については、延納は認めません。

(2) 延納担保の提供期限は契約締結日から起算して20日以内とします。

(3) 延納期限は、1,000㎡未満は6ヶ月以内、1,000㎡以上は10ヶ月以内とします。

1 3 物件の引渡

(1) 物件の引渡期限は、国有林野の産物売払規程第34条第1項及び国有林野事業林産物売買契約約款第7条第1項に基づき、代金の全部又は代金延納担保の提供があった日から15日以内とします。

(2) 物件の引渡は、買受人立会による引渡しをしないことについての買受人の同意を得られる場合には、国有林野の産物売払規程第34条第3項第2号及び国有林野事業林産物売買契約約款第7条3項に基づき、みなし引渡を特約することも可能です。この場合、代金の全部の納入のあったとき、または代金延納担保の提供があった時に引渡しがあったものとみなします。金融機関の発行する領収書等を福島森林管理署へ必ず提示してから搬出して下さい。

(3) 引渡を受けた時は、国有林野の産物売払規程第35条に基づき、引渡領収書を福島森林管理署長に提出して下さい。

1 4 各規程等の閲覧場所

(1) 販売物件明細書、契約書(案)

ア 販売物件明細書: 福島森林管理署又は福島森林管理署ホームページで閲覧して下さい。

福島森林管理署のホームページアドレス

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/koubai/koukoku1.html>

イ 契約書(案): 福島森林管理署で閲覧して下さい。

(2) 各規程等

ア 国有林野事業林産物売買契約約款

イ 国有林野の産物売払規程

ウ 関東森林管理局署等競争契約入札心得

エ 各種様式（別紙1-1, 1-2：委任状、別紙2：入札書）

上記ア～エは関東森林管理局のホームページにて閲覧できます。

関東局ホーム>公売・入札情報>林産物の売払情報

ホームページを閲覧できない方は、福島森林管理署業務グループ（経営担当）へお問い合わせ下さい。

関東森林管理局のホームページアドレス

[http:// www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/wood/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/wood/index.html)

1.5 その他留意事項

(1) 入札参加者は、入札書の提出をもって「暴力団排除に関する誓約事項」（別紙3）に同意したものとします。

(2) 本物件は、売買契約書において「持続可能な森林経営が営まれ、伐採に当たって森林に関する法令に照らし手続きが適正になされた森林の立木である」ことを証明します。なお、この記載内容をもって木質バイオマス証明となります。

(3) 発電用バイオマス証明に関しては、買受人自らが本売買契約書の写しを添付し、任意様式により証明して下さい。

(4) 本物件は、「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針について」（平成26年12月17日付け福島県農林水産部部長通知）に準拠し、事前に空間放射線量率の測定を実施し0.50μSv/h以下であること、また、0.50μSv/h超の場合は、樹皮の放射線物質濃度が6,400Bq/kg以下であることを確認しています。なお物件毎の測定結果は、別紙4に示すとおりです。

1.6 お問い合わせ

不明の点は、下記までお問い合わせ下さい。

〈問合せ先〉

福島森林管理署 業務グループ（経営担当）

電話番号 024-535-0121

IP電話番号 050-3160-5955

FAX番号 024-535-6514

お知らせ

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、当ホームページの「発注者綱紀保持対策に関する情報等」をご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/koukihoji/index.html>

現地案内について

現地案内を下記の日程により行いますので、御希望の方は時間までに御参集下さい。
なお、お尋ねの点がございましたら当森林管理署にご連絡お願い致します。

物件番号	案内日時	集合場所	案内者
1～3号	9月13日(月) 午前10時00分	ミニストップ 小野インター店	小野町森林事務所 石川 喜規 TEL 0247-72-2034 携帯 090-4848-5570

搬出の留意事項

- 保護樹帯の伐開制限について
 - 保護樹帯を縦断する架線などは、認めません。
 - 集材機架線などで、保護樹帯を横断する場合は保護樹帯の延長100mに対し1箇所とし伐開幅は20m以内とします。
- 物件搬出について
 - 物件搬出の際に支障木が生じた場合、ケヤキなど高品質材に指定されるものは受託生産の請負契約をしていただくこともありますので、御了承願います。
 - 物件搬出の際は保残木を損傷しないよう十分注意して下さい。
 - 民有地にかかる交渉等は買受人が行って下さい。
- 枝条、末木、伐根の処理及び土場跡地の保全について
 - 沢及び土場周辺に枝条、末木、伐根を野積放置しないこと。
 - 土場跡地は法面を含め緑化し、排水施設等を整備すること。
- 境界確認について
隣地との境界石標などを損傷または撤去しないこと。
- 作業については、森林官と協議しながら進めてください。作業に着手するまでに「立木販売箇所の作業計画届」を、森林官に提出してください。作業終了時は事前に森林官へ連絡し、必要に応じて現地の確認を受けてください。
- 公道利用における申請については、買受人において所定の手続きを行って下さい。

- 7 民有地にかかる交渉等は買受人が行って下さい。
- 8 林産物の搬出に使用するトラック運搬においては、運搬に使用する車両が運搬区間を走行できるか現地確認の上、入札して下さい。
- 9 国有林内既設作業道（自動車道）及び土場敷（以下「既設作業道等」とする）については、無料利用承認によらず現況により使用することを承認します。
なお、既設作業道等以外へ新規に作業道作設、土場敷として利用する場合には、無料利用承認申請が必要となりますので該当森林官へ連絡し手続きを行って下さい。
- 10 作業終了時には、搬出用道路の敷砂利等、森林官の確認、指示を得ること。（手直しも想定されることから林業機械収去前とする）
- 11 森林作業道施工箇所の地形、地質、土質等の条件を考慮しない路線設計や不適切な排水処理、縦断勾配、切土高等、作設指針に基づかない森林作業道を作設したことに起因し、一部地域の皆伐後の造林地等において台風や大雨により森林作業道の表土等が林地や林道等へ流出する事例が発生していることから、別紙5「特記仕様書」に基づき作成すること
また、事業期間中、別紙6「森林作業道作設時のチェックリスト表」に基づき、立木販売における監督業務及び安全指導において森林官等が確認することとなるので、指示を受けた内容について適切に処理すること。

お 願 い

1. 1号～3号物件は分収造林です。

分収造林の立木販売契約は、通常の立木販売の納入方法と異なる点がありますので、下記事項を御理解のうえ入札に参加されるようお願いいたします。

(1) 国の持分にかかる代金については、国の発行する納入告知書により納入していただきます。

(2) 分収造林契約者の持分にかかる代金については、契約者の金融機関の口座に振り込んでいただくことになります。

なお、振込にかかる手数料は買受け者の負担となります。

物件番号	林名区分	林 小 班	契約者数
1号	分収造林	317 う 1	1 組合
2号	分収造林	328 へ	1 組合
3号	分収造林	328 よ 1	1 組合

2. 郵便入札をされる方は、郵便入札の到着期限（入札前日の営業日の午後5時）までに入札書が福島森林管理署へ到着するよう郵送してください。

入札物件一覧表

物件番号	森林事務所	物件所在地			林齢(約)	保安林内外	主要樹種	数量		備考
		市町村	国有林名	林小班				本数	材積	
1	小野町	小野町	愚場地	317う1	59	外	スギ	1,707	909.38	分収造林
2	小野町	郡山市	河ウツ外1	328へ	78	外	スギ	1,079	1,208.64	分収造林
3	小野町	郡山市	河ウツ外1	328よ1	59	外	アカマツ	3,857	1,408.78	分収造林
	合計							6,643	3,526.80	

委 任 状 (例)

代理人氏名

上記の者を私の代理人と定め、下記権限を委任します。

記

- 1 入札年月日 年 月 日
- 2 件 名
- 3 入札に関する一切の件

年 月 日

住 所

商号又は名称
代表者氏名

分任契約担当官
福島森林管理署長 殿

注意：代理人が入札を行う場合は、必ず委任状を提出して下さい。

なお、当該年度を有効とする年間委任状（別紙 1 - 2）を提出し、その代理人に入札させる場合は、本委任状を提出する必要はありません。

ただし、その場合、各署等ごとに委任状の提出が必要となります。

委 任 状 (例)

私は、都合により〇〇 〇〇を代理人と定め、下記の権限を委任します。

委 任 事 項

1 入札に関する一切の件

2 見積もりに関する事項

3 委任期間

年 月 日から 年 月 日

年 月 日

住 所

商号又は名称
代表者氏名

分任契約担当官
福島森林管理署長 殿

入 札 書

入札番号 第 号

億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円

ただし、上記金額は消費税相当額を除いた金額であるので、契約額は上記金額に消費税相当額を加算した金額となること及び関東森林管理局署等競争契約入札心得を承知のうえ、入札します。

年 月 日

分任契約担当官

福島森林管理署長 殿

(入札者)
住 所

商号又は名称
代表者氏名

(代理人)
氏 名

(注意事項)

- 1 金額は、円単位とし、アラビア数字を持って明記すること。
- 2 代理人による入札の場合は、「住所」、「商号又は名称」及び代理人の氏名を記入すること。

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記1及び2のいずれにも該当せず、また、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴署の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）を警察に提供することについて同意します。

記

1 契約の相手方として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 契約の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

上記事項について、入札書の提出をもって誓約します。

物件毎の空間放射線量率

物件番号	林小班	①空間線量率 (μ Sv/h)	②樹皮の放射性物質濃度 (Bq/kg)	③測定日	面積	測定点数
1	317う1	0.13	-	R1.8.27	1.58ha	2点
2	328へ	0.12	-	R1.8.24	2.00ha	3点
3	328よ1	0.09	-	R2.7.13	5.98ha	7点

注1)空間放射線量率は、「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針について」に準拠し測定
しています。

注2)樹皮の放射性物質濃度は、空間放射線量率が 0.5μ Sv/h超の林分の場合のみ、抽出調査
により測定しています。

特記仕様書

本特記仕様書は、「森林作業道作設指針」（平成 22 年 11 月 17 日付け 22 林整第 656 号林野庁長官通知）に基づき、地形・地質、気象条件やこれまでの関東森林管理局管内における路網施工状況等を踏まえ定めたものである。

作設する路網は間伐等による木材の集材・搬出、主伐後の再造林等の森林整備に継続的に用いられる森林作業道であり、路体は堅固に締め固めた土構造を基本に、構造物は地形・地質等の条件からやむを得ない場合に限り設置することとし、本特記仕様書により作設する。

なお、本特記仕様書に指定していないものについては、森林作業道作設指針によることを基本とする。

第 1 路網

1 配置

路網は、フォワーダ等車輛系林業機械（以下、林業機械等という）が安全に走行でき、かつ作業システムの効率性が効果的に発揮されるよう次の点に留意し配置する。

- ①地形・地質の安定している安全な個所を通過するよう配置する。
- ②地形に沿った屈曲線形となるよう配置する。
- ③排水を考慮した波形勾配となるよう配置する。
- ④急勾配区間とカーブの組合せは極力避けるよう配置する。
- ⑤S字カーブは連続して設けないようにし、カーブ間に直線部を設けるよう配置する。

2 幅員

幅員は、3 m以下とする。ただし、林業機械等を用いた作業の安全性及び、作業性の確保に必要な区間に限って、0.5m程度の余裕を付加することができる。

3 勾配・排水

縦断勾配は、土質や使用する機械の能力等を考慮し、集材又は苗木等の運搬作業を行う林業機械等が、木材等を積載し安全に上り走行・下り走行ができる、勾配で計画する。

横断勾配は、原則として水平とするが、水平区間など危険のない場所で、横断勾配の谷側をわずかに低くする排水方法を採用する場合は、必要に応じて丸太等による路肩侵食保護工、盛土のり面の保護措置をとる。

特に、木材積載時の下り走行におけるブレーキの故障や、雨天や凍結時のスリップによる転落事故を防止するため、カーブの谷側を低くすることは避ける。

排水は、縦断勾配を緩やかな波状にすることにより、こまめな分散排水を行うこととし、排水先は安定した尾根部や常水のある沢にする等して、路面に集まる雨水を安全、適切に処理するとともに次の点に留意する。

①カーブ区間に係る排水は、カーブ上部の入り口付近で行う。

②地下水の湧出又は地形的な条件による地表水の局所的な流入又は滞水がある場合には、これらを側溝又は横断排水施設等により排水する。

第2 施工

1 切土

切土高は、ヘアピンカーブの入口など局所的にやむを得ない場合を除き、1.5m程度以内とする。

切土のり面勾配は、直切りを標準とする。ただし、切土高が高くなる場合、または、土質に応じて6分（岩石の場合は3分）とする。

2 盛土

盛土については、地山を段切りして基盤をつくった上で、30cm程度の層ごとにバケット及び履帯を用いて十分に締め固める。

なお、緊密度の低い土砂の場合は、盛土・地山を区分せず、路体全体を30cm程度の層ごとに締め固め、路体全体として十分な強度をもたせる。

盛土のり面勾配は、概ね1割とする。盛土高が2mを超える場合は、1割2分程度とする。

ヘアピンカーブの盛土箇所では、締め固めを繰り返し行ったり、構造物を設けるなどして、路体に十分な強度をもたせる。

盛土の土量が過不足する場合は、山側から谷側への横方向での土量調整だけでなく、前後の路床高の調整など縦方向での土量調整も行う。

3 簡易構造物等

構造物は、安全確保の観点や地形・地質等の制約から、やむを得ない場合にのみ設置する。その場合、転石等現地発生資材の活用を図りつつ、利用の頻度やコスト等を考慮して適切なものを選定する。

4 伐開

伐開は、作設箇所ごとにおける斜面の方向、風衝等を考慮し、必要最小限の幅とする。

第3 周辺環境への配慮

森林作業道は、人家、道路、鉄道その他重要な保全対象（以下、人家等という）又は水道の取水口が存在する場合は、その直上では極力作設しない。

事業実行中は、人家等に対し、土砂の流出、土石の転落及び伐倒木等の落下を防止するために必要な措置を講じる。

また、希少な野生生物の生息・生育情報を知ったときは、監督職員に報告し、指示を受ける。

第4 その他

1 表土、根株の扱い

根株やはぎ取り表土は、盛土のり面保護工として利用する。表土は心土と交互に概ね30cm毎の層毎にバケット等で十分締め固めて盛土法面に固定する。根株は、表土や心土等とともに十分締め固めるとともに作業に支障のないように固定する。

根株の上に根株を幾つも重ねて積み上げることや、根株を丸ごと路体内に完全に埋設することは、締め固めが難しくなるので避ける。また、土質、根株の大きさ、集材方法、山腹傾斜等から、盛土のり面保護工に向かない場合は、安定した状態にして自然還元利用等を図る。

2 事業終了時において、洗掘を防ぐための水切りを登坂部分等に入れる。

森林作業道作設時のチェック表

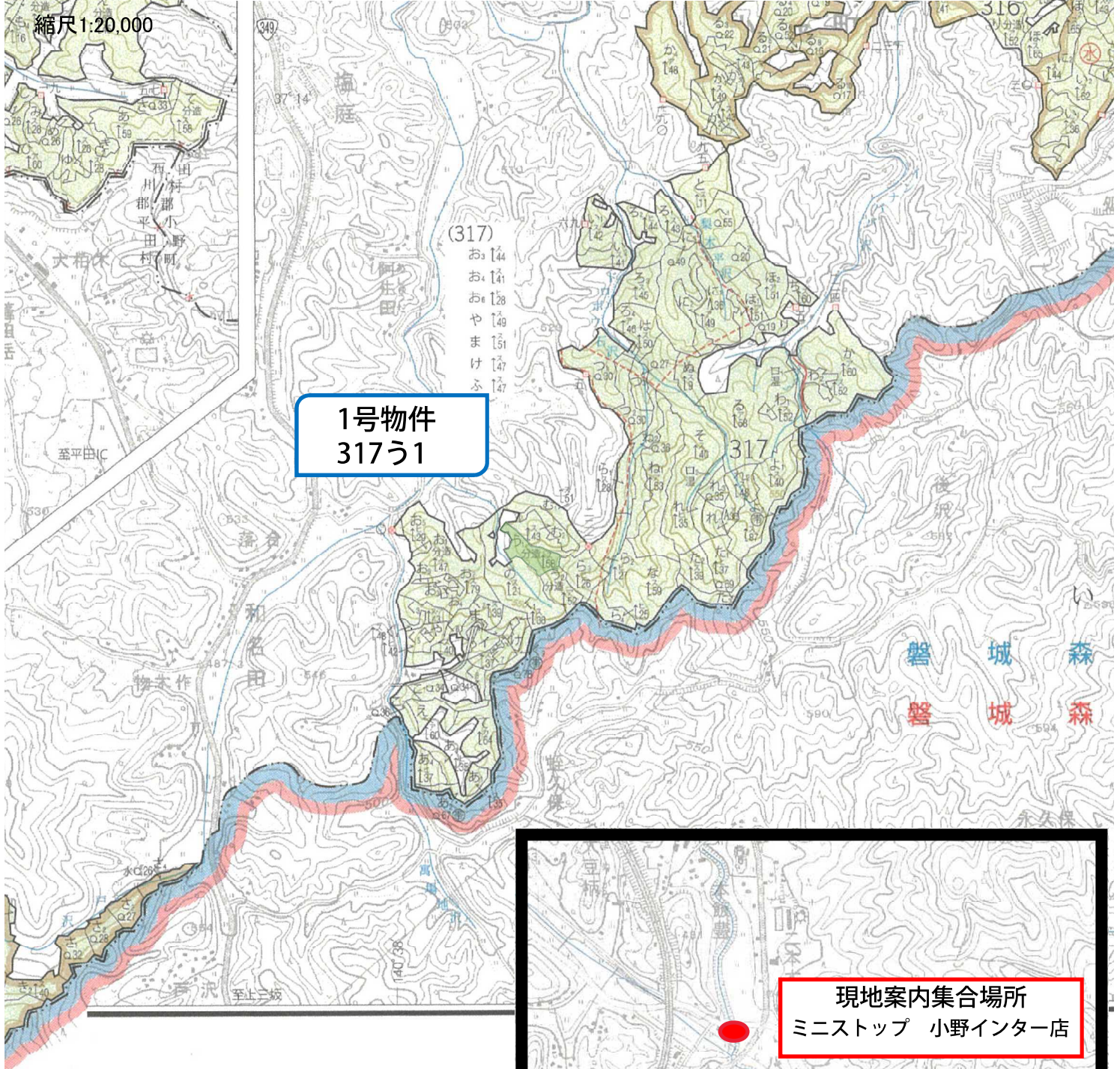
項目	確認内容	内容の適否					指示事項
		林小班 月 日	林小班 月 日	林小班 月 日	林小班 月 日	林小班 月 日	
伐開	① 伐開幅は、幅員に応じ必要最小限の幅となっているか						
幅員	① 幅員は3mまでとなっているか						
	② 林業機械での作業の安全性や作業性は確保されているか(作業区間は0.5m程度付加されているか)						
勾配・排水	① 縦断勾配は、木材を積載した車両が安全に走行できるか						
	② 縦断勾配は、緩やかな波状で分散排水になっているか						
	③ 横断勾配は原則水平となっているか						
	④ 横断勾配を谷側にわずかに低くした場合、必要に応じ丸太等で路肩の浸食防止を行っているか						
	⑤ 下り走行のカーブの谷側は水平となっているか						
	⑥ 上記⑤のカーブでは上部の入り口付近で排水しているか						
切土	① 切土の法高は1.5m程度以内となっているか						
	② 法面勾配は直切りとなっているか(土質、切土高が高い場合は6分(岩石3分))						
盛土	① 概ね30cm程度の層ごとにバケツ及び履帯で十分締め固めを行っているか						
	② 法面の勾配は、概ね1割となっているか(盛土高が2mを越える場合は1割2分)						
簡易構造物	① 構造物の設置は現地発生資材(丸太等)を活用しているか						
その他	① 土砂の流失、土石の転落防止は適切に行われているか						
	② 根株やはぎ取り表土は盛土法面の保護として活用されているか						
	③ 表土は真土と交互に概ね30cmごとの層毎にバケツで十分締め固めを行っているか						
	④ 根株は作業に支障がないよう固定されているか						
	⑤ 根株は丸ごと路体内に完全に埋没していないか						

注) 内容の適否は、適切が○、一部修正が必要なもの△、否が×を記載する。なお、△と×の場合は、必要な指示を行い、指示事項欄にその指示内容を記載する。

《1号物件公売箇所 及び現地案内集合場所》



縮尺1:20,000



1号物件
317う1

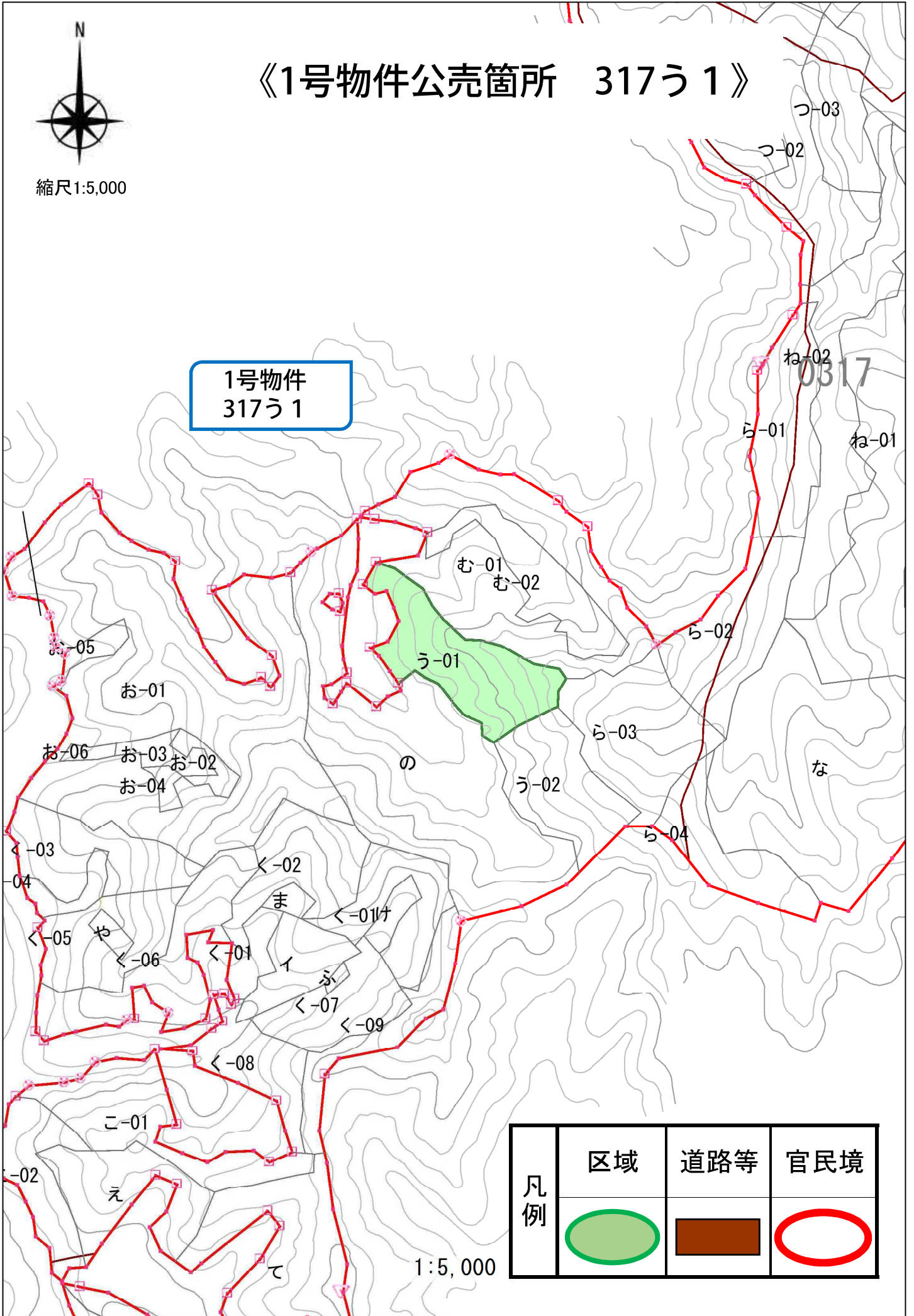
現地案内集合場所
ミニストップ 小野インター店



縮尺1:5,000

《1号物件公売箇所 317う1》

1号物件
317う1

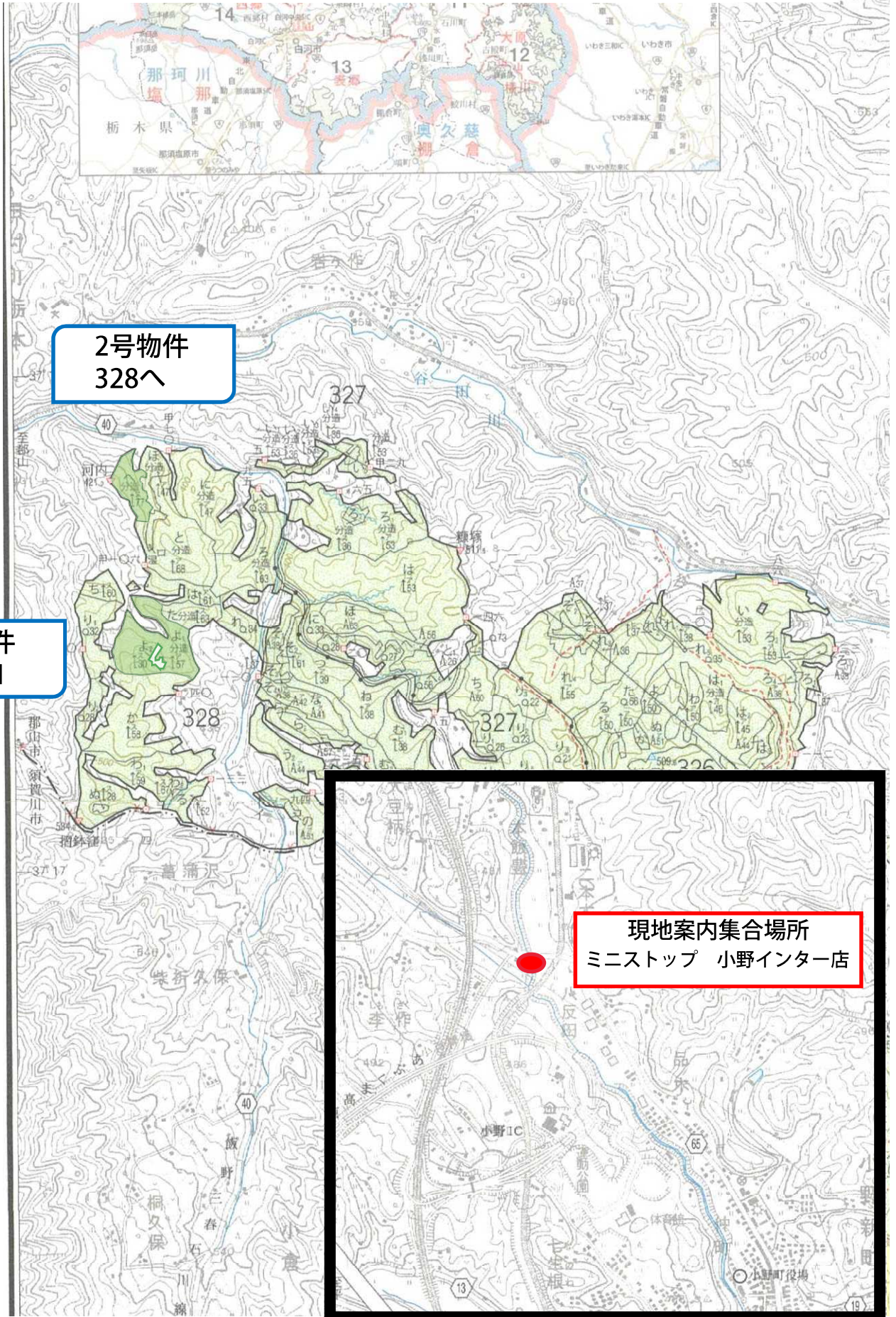


凡例	区域	道路等	官民境



縮尺1:20,000

《2, 3号物件公売箇所 及び現地案内集合場所》



2号物件
328へ

3号物件
328よ1

現地案内集合場所
ミニストップ 小野インター店

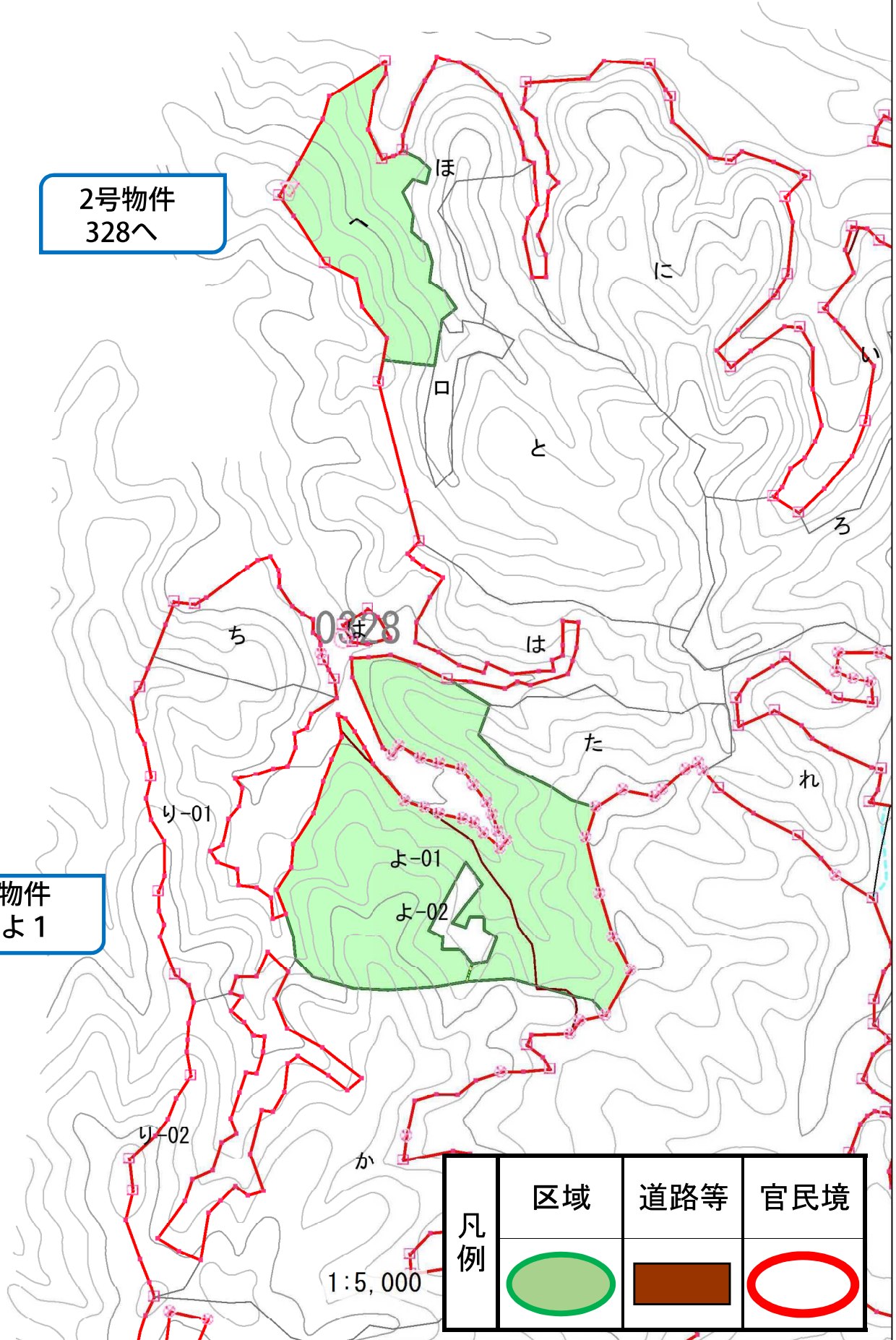


《 2号物件公売箇所 328へ 》
《 3号物件公売箇所 328よ1 》

縮尺1:5,000

2号物件
328へ

3号物件
328よ1



凡例	区域	道路等	官民境

販売物件明細書【1号物件】

売払番号	物 件 所 在 地	伐採種	林名区分
1	福島県田村郡小野町和名田字 愚場地国有林317林班う1小班	皆伐	分収造林
搬出期間	収穫面積	林 齢	森 林 事 務 所
契約日より3箇年	1.58ha	約59年	小野町森林事務所

樹 種	種 類	材 種	本 数	材 積
スギ	生立木	一般材	1,289	798.75
アカマツ	生立木	一般材	11	10.88
N 一 般 材 計			1,300	809.63
L 一 般 材 計			-	-
一 般 材 計			1,300	809.63
スギ	生立木	低質材	346	83.98
アカマツ	生立木	低質材	5	5.47
N 低 質 材 計			351	89.45
低質材広葉樹	生立木	低質材	56	10.30
L 低 質 材 計			56	10.30
低 質 材 計			407	99.75
N 計			1,651	899.08
L 計			56	10.30
計			1,707	909.38
1 号 物 件 合 計			1,707	909.38

入 札 筆 記	入札枚数 (枚)
順位	氏 名 金 額
3	
2	
1	

*1号物件現地案内集合場所・公売箇所は、18・19ページ参照

樹種径級別内訳

樹種：スギ／材種：一般材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
12	12	4	
14	13	16	
16	14	45	
18	16	66	
20	17	89	
22	19	120	
24	19	181	
26	20	177	
28	20	137	
30	21	108	
32	22	97	
34	23	72	
36	23	50	
38	23	47	
40	24	28	
42	24	16	
44	24	11	
46	25	9	
48	25	6	
50	25	4	
54	25	1	
54	26	2	
54	27	1	
56	26	1	
58	26	1	
計		1,289	

樹種：アカマツ／材種：一般材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
24	17	1	
28	17	2	
28	18	1	
36	19	1	
38	18	1	
40	20	1	
40	21	1	
42	21	1	
46	20	1	
56	20	1	
計		11	

樹種：アカマツ／材種：低質材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
22～48	16～20	5	
計		5	

樹種：その他L／材種：低質材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
10～34	7～18	56	
計		56	

樹種：スギ／材種：低質材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
10～50	10～25	346	
計		346	

販売物件明細書【2号物件】

売払番号	物 件 所 在 地	伐採種	林名区分
2	福島県郡山市田村町栃本字 河ウツ外1国有林328林班へ小班	皆伐	分収造林
搬出期間	収穫面積	林 齢	森 林 事 務 所
契約日より3箇年	2.0Oha	約78年	小野町森林事務所

樹 種	種 類	材 種	本 数	材 積
スギ	生立木	一般材	848	1,072.03
N 一般材計			848	1,072.03
クリ	生立木	一般材	1	1.66
L 一般材計			1	1.66
一般材計			849	1,073.69
スギ	生立木	低質材	106	38.24
N 低質材計			106	38.24
低質材広葉樹	生立木	低質材	124	96.71
L 低質材計			124	96.71
低質材計			230	134.95
N 計			954	1,110.27
L 計			125	98.37
計			1,079	1,208.64
2号物件合計			1,079	1,208.64

入札筆記	入札枚数 (枚)
順位	氏 名 金 額
3	
2	
1	

*2号物件現地案内集合場所・公売箇所は、20・21ページ参照

樹種径級別内訳

樹種：スギ／材種：一般材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
14	12	1	
16	14	2	
18	15	7	
20	17	16	
22	18	33	
24	20	45	
26	21	47	
28	22	46	
30	22	60	
32	23	48	
34	23	59	
36	24	79	
38	24	64	
40	25	50	
42	26	57	
44	26	55	
46	27	34	
48	27	55	
50	27	24	
52	28	13	
54	28	23	
56	28	13	
58	28	7	
60	28	4	
62	27	1	
62	28	1	
64	24	1	
66	29	1	
68	28	1	
70	28	1	
計		848	

樹種：クリ／材種：一般材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
50	20	1	
計		1	

樹種：その他L／材種：低質材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
10～62	8～21	124	
計		124	

樹種：スギ／材種：低質材			備 考
胸高直径	樹高	本 数	
10～58	10～28	106	
計		106	

販売物件明細書【3号物件】

売払番号	物 件 所 在 地	伐採種	林名区分
3	福島県郡山市田村町栃本字 河ウツ外1国有林328林班よ1小班	皆伐	分収造林
搬出期間	収穫面積	林 齢	森 林 事 務 所
契約日より3箇年	5.98ha	約59年	小野町森林事務所

樹 種	種 類	材 種	本 数	材 積
スギ	生立木	一般材	271	266.45
ヒノキ	生立木	一般材	2	0.27
アカマツ	生立木	一般材	718	413.28
N 一般材計			991	680.00
クリ	生立木	一般材	6	4.38
コナラ	生立木	一般材	2	2.10
ホオノキ	生立木	一般材	1	1.09
サクラ	生立木	一般材	1	1.46
L 一般材計			10	9.03
一般材計			1,001	689.03
スギ	生立木	低質材	152	45.73
アカマツ	生立木	低質材	471	152.51
N 低質材計			623	198.24
低質材広葉樹	生立木	低質材	2,233	521.51
L 低質材計			2,233	521.51
低質材計			2,856	719.75
N 計			1,614	878.24
L 計			2,243	530.54
計			3,857	1,408.78

3号物件合計	3,857	1,408.78
--------	-------	----------

入 札 筆 記		入札枚数 (枚)
順位	氏 名	金 額
3		
2		
1		

*3号物件現地案内集合場所・公売箇所は、20・21ページ参照

樹種径級別内訳

樹種：スギ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
14	14	1
16	15	4
18	16	5
20	18	7
22	19	7
24	20	18
26	21	22
28	22	24
30	22	26
32	22	21
34	23	27
36	23	18
38	24	24
40	24	19
42	24	11
44	24	8
46	24	6
48	24	6
50	24	5
52	25	5
54	25	4
56	24	1
56	25	1
66	22	1
計		271

樹種：スギ／材種：低質材		
胸高直径	樹高	本数
10～38	9～24	152
計		152

樹種：ヒノキ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
16	12	1
18	12	1
計		2

樹種：アカマツ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
16	15	8
18	16	36
20	17	45
22	17	65
24	17	71
26	17	89
28	17	86
30	18	69
32	18	54
34	19	60
36	19	41
38	19	42
40	20	20
42	20	12
44	20	9
46	20	4
48	21	4
50	20	2
52	21	1
計		718

樹種：アカマツ／材種：低質材		
胸高直径	樹高	本数
12～48	12～21	471
計		471

樹種：クリ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
32	17	2
32	18	1
34	16	1
34	18	1
42	19	1
計		6

樹種：コナラ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
38	19	1
42	19	1
計		2

樹種：ホオノキ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
42	18	1
計		1

樹種：サクラ／材種：一般材		
胸高直径	樹高	本数
48	19	1
計		1

樹種：その他L／材種：低質材		
胸高直径	樹高	本数
10～48	9～20	2,233
計		2,233